

令和5年11月 白石市教育委員会定例会 会議録

- 1 招集日時 令和5年11月1日（火） 午前10時00分
- 2 招集場所 白石市役所 防災センター会議室
- 3 出席者 半沢教育長、小室委員、鈴木委員、大橋委員、志村委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者
学校管理課 佐藤課長 星教育専門監
山田課長補佐兼学校給食センター所長
大野課長補佐
生涯学習課 佐藤参事兼生涯学習課長
図書館 半澤館長
- 6 本委員会の書記は、次のとおりである。
大野学校管理課長補佐
- 7 開 会 午前10時00分
- 8 議事日程
第36号議案 令和5年度白石市一般会計補正予算(12月)の申し入れについて
(案)
第37号議案 白石市教育委員会感謝状の贈呈について(案)
- 9 前回会議録の承認について
教育長： (委員全員に諮って) 承認する。
- 10 教育委員会会議録署名委員の指名について
教育長： 大橋委員及び志村委員を指名する。

1 1 教育長報告事項

(1) 一般事務報告

- 1 教育支援委員会（第1回 10/4、第2回 10/18）（教育専門監）
- 2 オーストラリア聖ラファエル校生徒来白（10/4～10/9）（学校管理課長）
- 3 スポーツ推進委員会議（10/5）（生涯学習課長）
- 4 白石市民体育大会（10/8）（生涯学習課長）
- 5 総合教育会議（10/10）（学校管理課長）
- 6 就学時健康診断（10/13）（学校管理課長）
- 7 宮城県都市教育長協議会教育長・総務主管課長会議（10/18）（学校管理課長）
- 8 学校給食運営審議会（10/20）（学校管理課長）
- 9 社会教育委員の会議（10/24）（生涯学習課長）
- 10 ふるさとのまちを語る交流登別市訪問（10/30～31）（学校管理課長）
- 11 寄附受納式（学校管理課長）
 - (1) 日本フカフィー株式会社（10/6）
 - (2) ビックハートネットワーク（大同生命保険・A I G損害保険）（10/10）
 - (3) 白石ロータリークラブ（10/10）

(質 疑)

小室委員： 1 教育支援委員会関係について、審議に係る添付資料に医療機関発行の診断書とあるが、医療機関で面接に時間を要し、さらに認定を受け診断書発行にもかなりの時間を要するとのことで、保護者等から準備することが大変だという話を聞いているが、現状を教えて欲しい。

教育専門監： 今年度も例年同様、教育支援委員会は10月に開催し審議しておりますが、教育支援委員会に諮る以前に、各学校での判定が必要であることから添付資料を含めた申請書一式について、新年度が始まる前または年度当初から各学校や保健師を通じ保護者に対しお話をさせていただき、早めに資料を揃えていただくようお知らせしているところです。

各学校での事前判定の際に重要なこととして、インクルーシブ教育を進めるにあたり、保護者との合意形成が必要であること及び小室委員発言のとおり、地域の医療機関が限られている中で、診断予約が非常に取りづらく診断書の発行まで時間がかかることは各学校及び事務局でも認識しており、教育支援委員会までに間に合わないというケースもあります。しかし、医療機関等による専門家の診断書等が無ければ、教育支援委員会で判断することは難しく、審議保留となるケースがあります。その場合、教育支援委員会での具申についても保留となり、その後診断書等が提出された

段階で事務局にて審査後、教育長名にてどこの学校が適しているのか判断するという対応をしております。

また、例年10月に教育支援委員会を開催しなければならない理由は、新年度の学級編成に関わる問題があり、新年度までの準備に必要な時間も考え来年度以降も同じような時期に開催せざるを得ないと思われま

す。なお、特別支援教育の充実は、本市における教育課題の中でも非常に重要な事項と考えておりますので、この様な件についても計画的に進められるよう、各学校等と連携し保護者の方々が困らないよう進めて参りたいと思

鈴木委員： 特別支援教育について、白石市の中学校はセンター方式を採用し白石中学校だけに特別支援学級がありますが、近年生徒数も増えており、30人を超える生徒が在籍し7クラスとなり、教室の数が少なく複数クラスで1つの教室を使用している実態もあると聞いております。特別支援学級の理想として、生徒が落ち着いて静かな環境で少人数とすることが良いとされておりますが、現時点では理想とする特別支援教育の環境として程遠い状態になっているようなので、白石中学校に空き教室が無いのであれば、難しいのかもしれませんが、例えば休校としている校舎を活用するなどできないものかと思

教育長： 鈴木委員の発言に対し、明確な回答とされないかもしれませんが、白石市は長い間センター方式を採用し、中学校における特別支援教育を白石中学校の1か所で運営しております。なぜこのような方式を採用したかという

と、以前の特別支援学級に在籍していた生徒は、義務教育課程修了後、社会に出ていく生徒が多数在籍しており、卒業後社会人として自立するための社会性を学ぶことが重要との考えから、センター方式を採用したものです。

しかし現在では、特別支援学級を卒業した生徒のほとんどは進学しており、社会に出ていく例はありません。そのような事を考慮すると、センター方式が良いのか違う方法を進めるのか見直す時期に来ているのか

教育長： (1) 一般事務報告について
(委員全員に諮って) 承認する。

(2) 専決事務報告

なし

(3) その他

1 令和6年度教職員人事等に関する要望について

2 その他

学校管理課長： 市内小学校において、多数の児童がインフルエンザウイルスに感染したことにより学級閉鎖の対応を取りましたので報告いたします。
引き続き感染予防に努めて参ります。

(質 疑) : (質 疑 な し)

教育長： (3) その他について
(委員全員に諮って) 承認する。

以上

1 2 議事

- ・ 第36号議案 令和5年度白石市一般会計補正予算(12月)の申し入れについて
(案)

(質 疑) : (質 疑 な し)

教育長： 第36号議案について
(委員全員に諮って) 承認する。

以上

- ・ 第37号議案 白石市教育委員会感謝状の贈呈について (案)

教育長： 第37号議案について、人事案件につき秘密会にて審議する。
(委員全員に諮って) 全員一致で承認。 ※秘密会のため非公開

以上

1 3 その他

学校管理課長： 12月の定例教育委員会は、11月28日(火)13時30分から本庁舎4階第4会議室で行います。

以上

14 閉会 午前11時15分 終了

15 本委員会の議決の結果は、次のとおりである。

第36号議案 令和5年度白石市一般会計補正予算(12月)の申し入れについて(原案可決)

第37号議案 白石市教育委員会感謝状の贈呈について(原案可決)

令和5年11月1日

署名委員 大橋 扶美子

署名委員 志村 洋一